

デジタルアーツ株式会社  
(証券コード 2326)



平成30年3月期 第3四半期  
(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

補足説明資料  
平成30年1月30日 (火)

平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

# 決算のポイント

- ① **前期に獲得した官公庁向け大型案件・自治体向け特需の剥落を、企業向け市場の成長でカバーし、増収増益を確保**
  - 前連結会計年度に獲得した官公庁向け大型案件・自治体向け特需の剥落を、企業向け市場における「i-FILTER」「m-FILTER」の成長等でカバーし、増収増益を確保
- ② **既存のお客様を中心として「i-FILTER」Ver.10、「m-FILTER」Ver.5へのバージョンアップが着実に進む**
  - Webセキュリティ「i-FILTER」Ver.10とメールセキュリティ「m-FILTER」Ver.5をリリース。Webとメールからのマルウェア感染やデータ流出対策がより強固となる
  - 既存のお客様を中心として、新製品へのバージョンアップが着実に進む
- ③ **コンサルティング案件の受注が順調に推移**
  - 情報セキュリティ対策強化への意識の高まりから、子会社のデジタルアーツコンサルティングにおける受注が順調に推移し、全社売上の成長に貢献

平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

# 連結決算ハイライト

## 連結売上高

売上高： **3,551** 百万円 （前期比 +32百万円 / +0.9%）

前年同期に獲得した官公庁向けの大型案件、自治体向け特需の剥落を、企業向け市場における成長で補い対前期増収を確保

## 営業利益

営業利益： **1,164** 百万円 （前期比 +19百万円 / +1.7%）

対前期増収、米国子会社を中心とした海外事業立ち上げに関する先行投資が一巡した事等に伴うコスト減を主要因として増益となる

## 経常利益

経常利益： **1,177** 百万円 （前期比 +43百万円 / +3.8%）

営業利益の成長により経常利益ベースでも増益となる

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

四半期純利益： **777** 百万円 （前期比 +83百万円 / +12.1%）

国内業績が相対的に好調である事、海外の先行投資が一巡した事に伴い、税金負担が軽減され増益となる

## 連結業績

(単位：百万円)

項目	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	3,518	<b>3,551</b>	+0.9%	5,600
売上総利益	2,776	<b>2,777</b>	+0.0%	4,450
販売管理費	1,631	<b>1,612</b>	▲1.2%	2,450
営業利益	1,145	<b>1,164</b>	+1.7%	2,000
経常利益	1,134	<b>1,177</b>	+3.8%	2,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	693	<b>777</b>	+12.1%	1,240
ROE	14.9%	<b>14.3%</b>	—	—

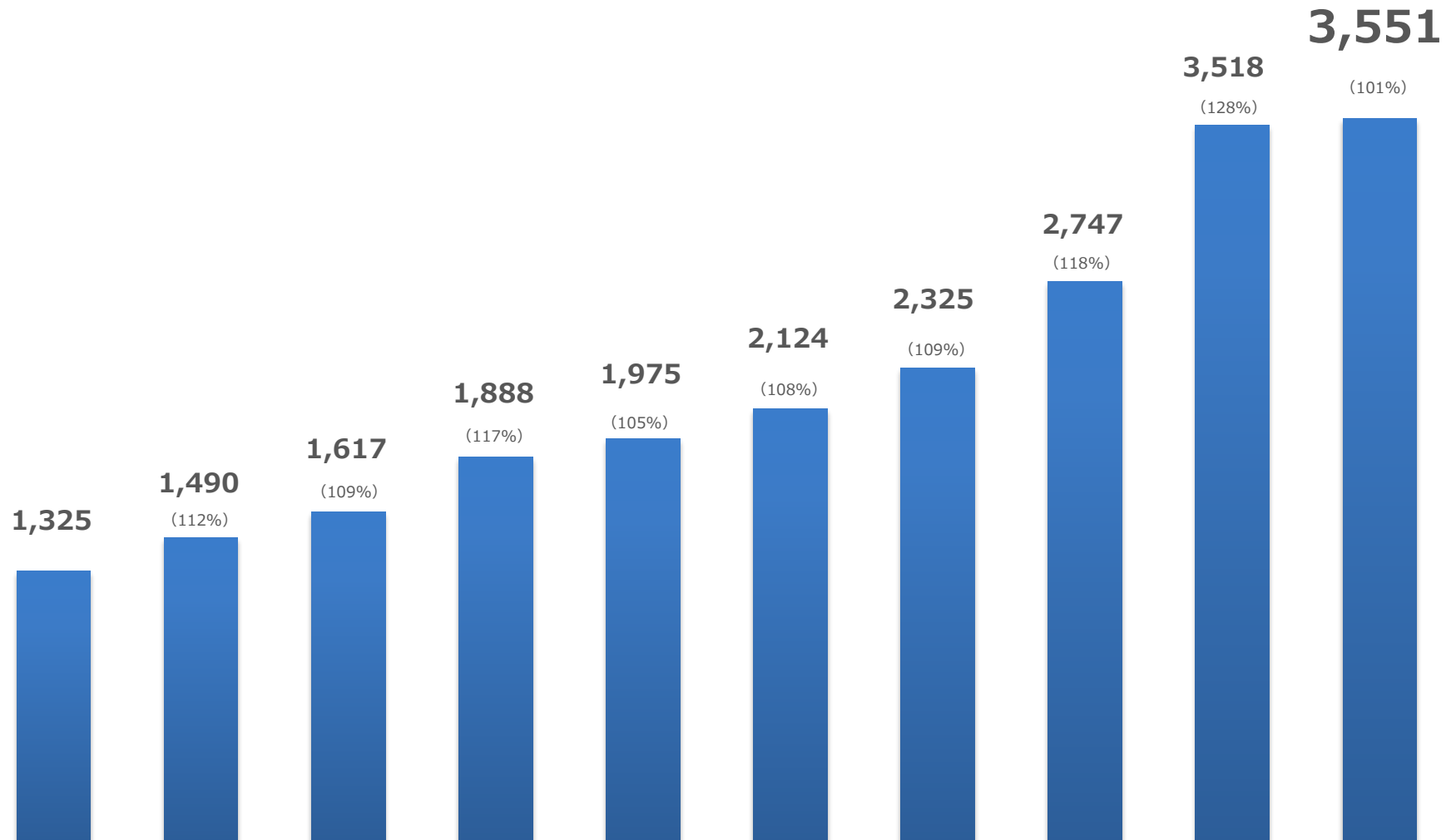
## 個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前期比	通期予想
売上高	3,575	<b>3,523</b>	▲1.4%	5,550
売上総利益	2,765	<b>2,730</b>	▲1.3%	4,450
販売管理費	1,451	<b>1,426</b>	▲1.7%	2,100
営業利益	1,313	<b>1,303</b>	▲0.8%	2,350
経常利益	1,302	<b>1,315</b>	+1.0%	2,350
四半期純利益	880	<b>947</b>	+7.6%	1,621
ROE	17.0%	<b>15.4%</b>	—	—

# 過去最高の売上高を更新

(単位：百万円)

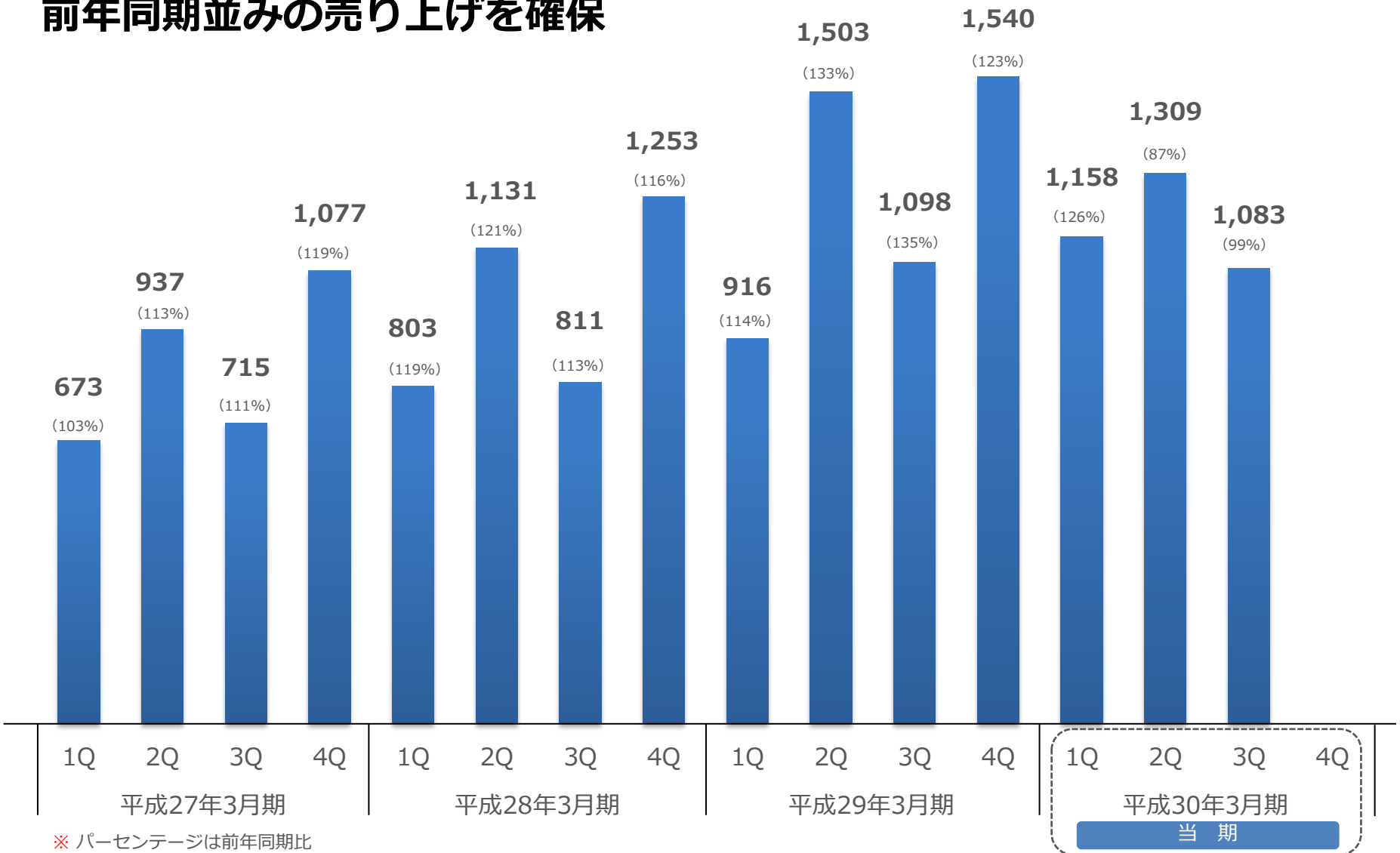


※ パーセンテージは前期比



# 自治体向け特需の剥落あるも企業向け市場等で回収し、前年同期並みの売上げを確保

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

- 海外事業立ち上げに関する先行投資が一巡した事を主要因として、売上原価・販売費及び一般管理費共に減少

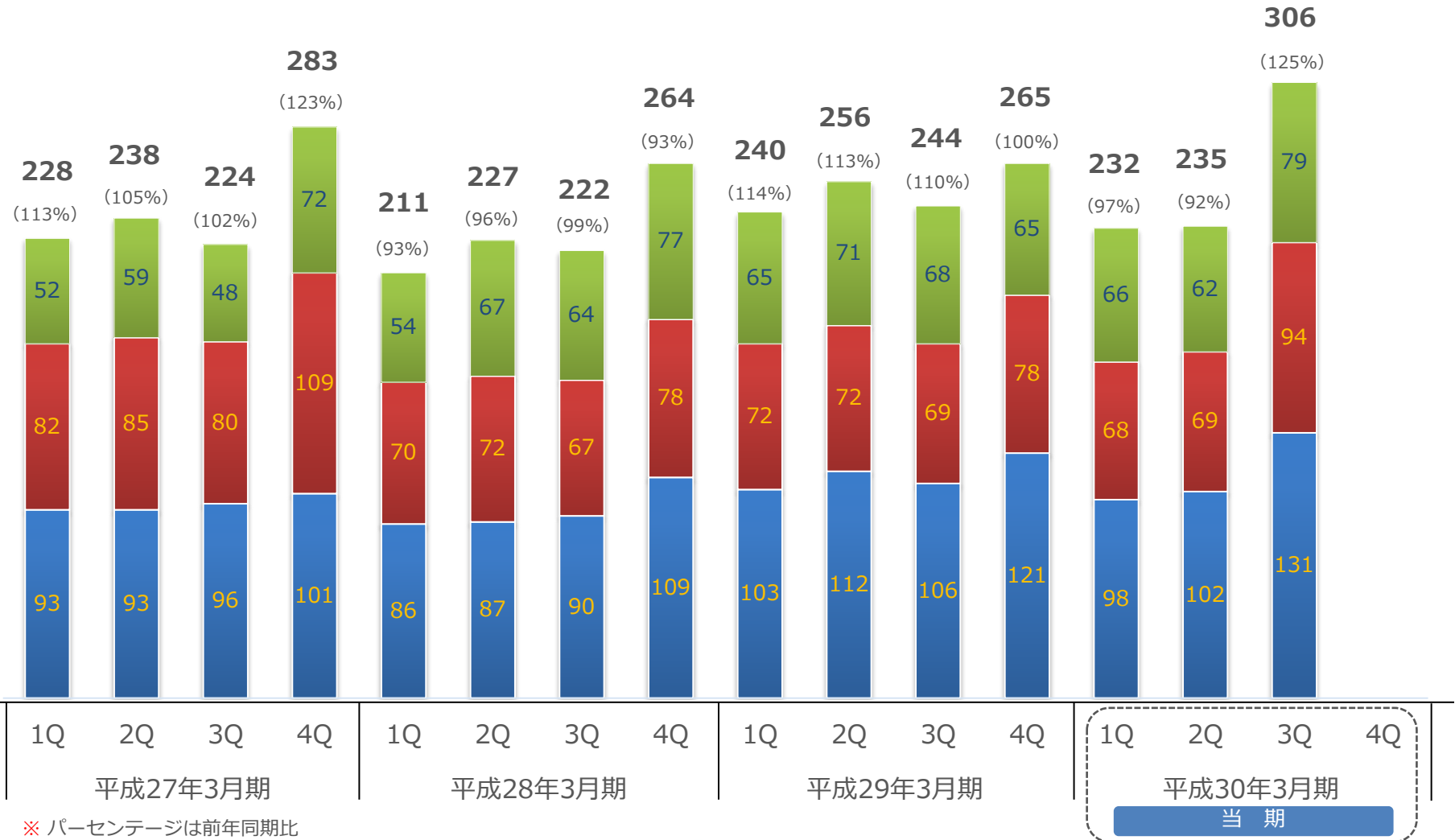
(単位：百万円)

項目	平成29年3月期 第3四半期	平成30年3月期 第3四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	741	<b>774</b>	+32	
労務費	321	<b>332</b>	+10	
減価償却費	214	<b>232</b>	+18	
他勘定振替 その他製造原価	205	<b>208</b>	+3	
販売費及び一般管理費	1,631	<b>1,612</b>	▲19	
人件費	856	<b>795</b>	▲60	内、国内人件費 ▲43M 海外人件費 ▲16M
広告宣伝費	236	<b>227</b>	▲9	
その他	538	<b>589</b>	+50	国内営業所賃借料の増加、外部の専門家への支払報酬増加等

# コンサルティング子会社の売上好調等により コンサル人員のコスト等が増加

(単位：百万円)

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

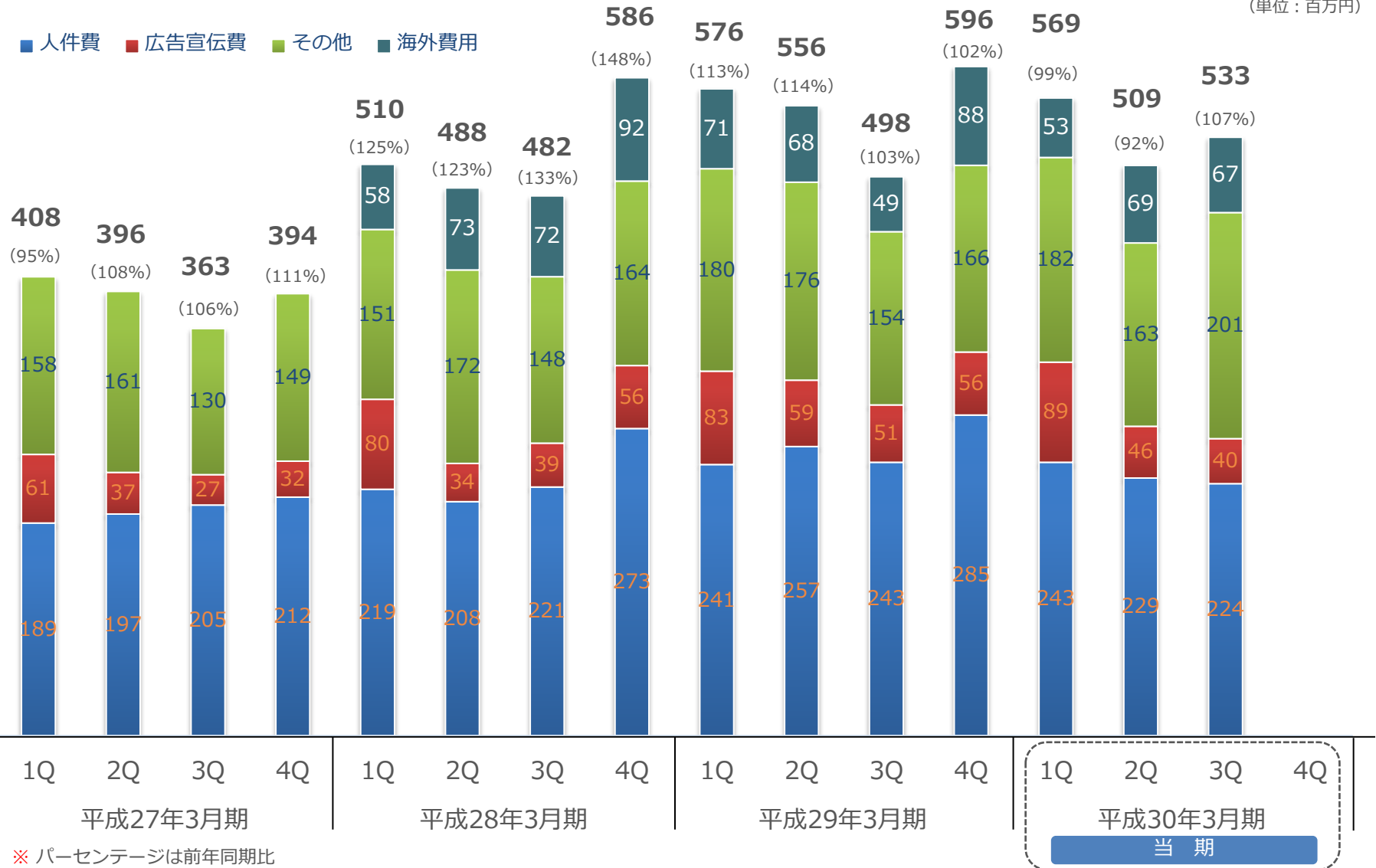


※ パーセンテージは前年同期比

## 組織体制の見直し、中長期的な人事戦略に基づきリソースを有効活用

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用



※ パーセンテージは前年同期比

平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

## 市場別詳細

- 前期に大型案件・自治体向け特需あるも、連結全体で **+0.9%** の成長を堅持
- 企業向け市場 **+16.7%**成長。公共の大型案件・自治体向け特需剥落をカバー
- 家庭向け市場においては、国内のパソコン出荷台数が大幅に減少する中、底堅く推移

## 連結売上高

売上高： **3,551** 百万円 (前期比 +32百万円 / +0.9%)

## 企業向け市場

売上高： **2,031** 百万円 (前期比 +291百万円 / +16.7%)

## 公共向け市場

売上高： **1,247** 百万円 (前期比 ▲275百万円 / ▲18.1%)

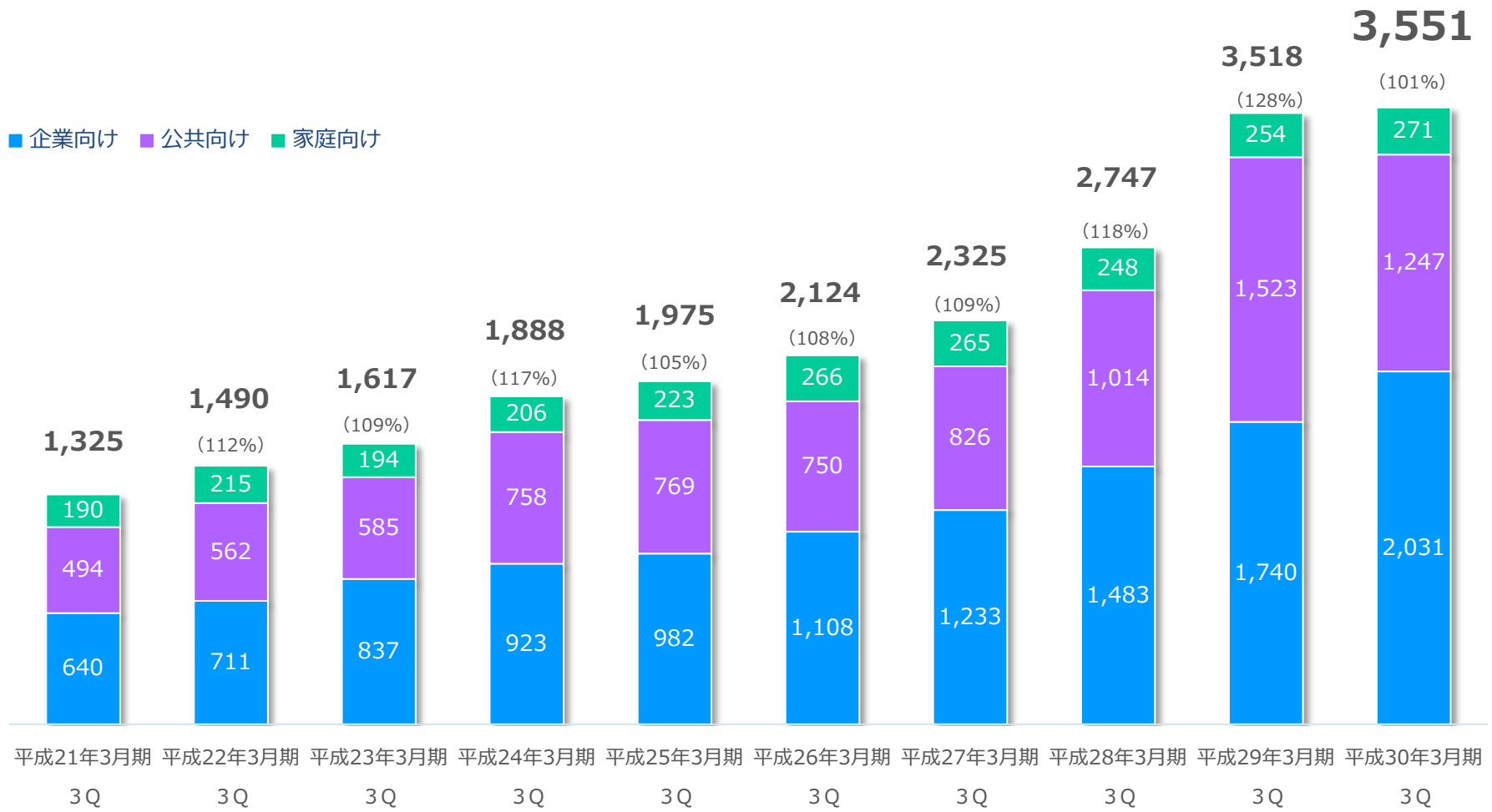
## 家庭向け市場

売上高： **271** 百万円 (前期比 +17百万円 / +6.9%)

# 企業向けが全社業績を牽引

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け

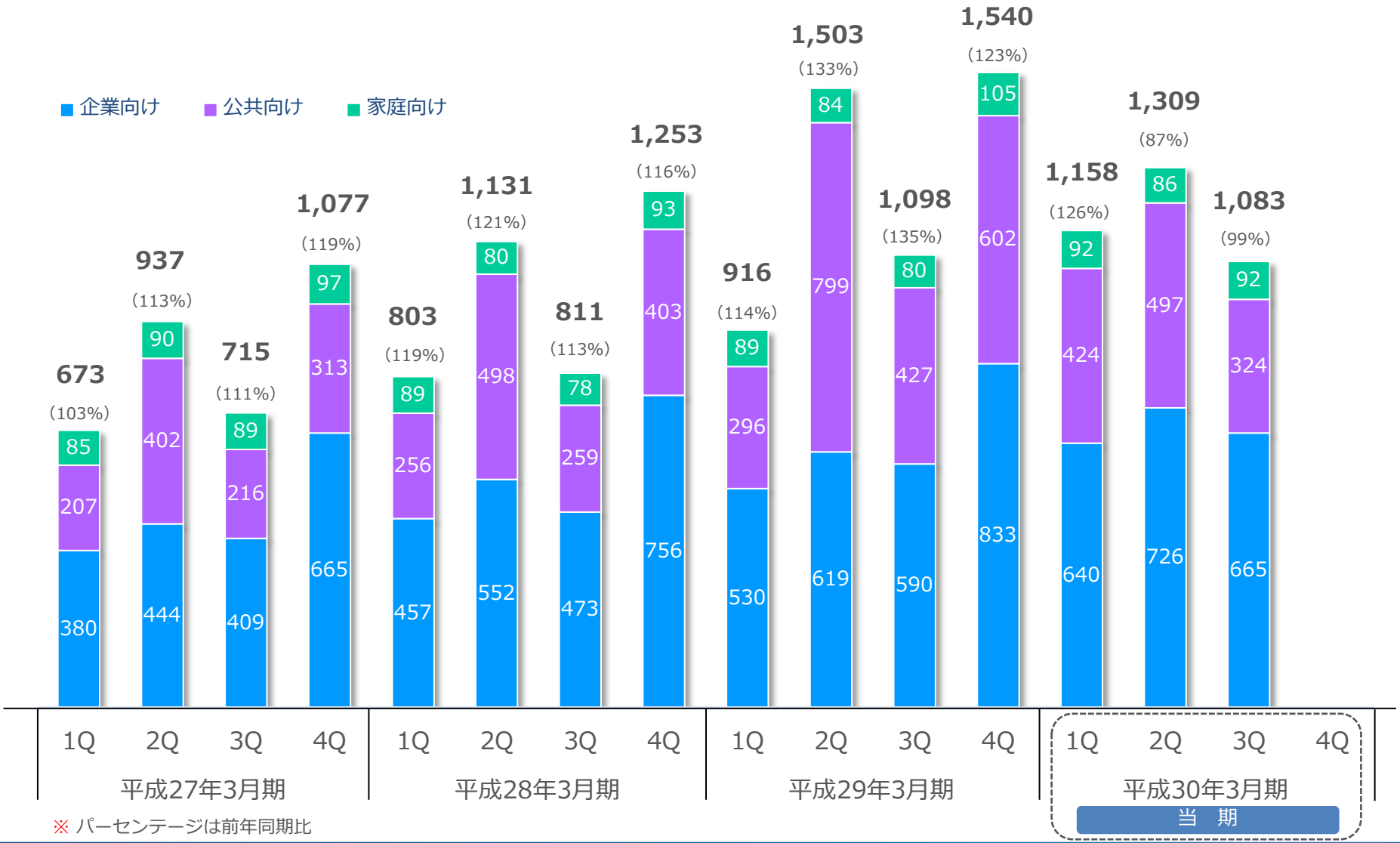


※ パーセンテージは前期比

# 企業向け市場の成長により全社ベースでは前年並みの売上を確保

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比



平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

# 企業向け市場

- 主力製品である「i-FILTER」シリーズ・「m-FILTER」シリーズの販売が堅調に推移
- 「FinalCode」についてはテスト導入・スモールスタートを目的とした案件を中心に獲得が進む
- 既存のお客様を中心として「i-FILTER」 Ver.10、「m-FILTER」 Ver. 5へのバージョンアップが着実に進む

**i-FILTER**  
Series

前年同期比 **110.1** %



**m-FILTER**  
Series

前年同期比 **116.0** %



**FINALCODE**

前年同期比 **107.5** %



平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

# 公共向け市場

- 主力製品の導入は着実に進むも、前連結会計年度に各市区町村において活発化したセキュリティ対策向上対応、各都道府県におけるインターネット接続口を集約化し、監視機能を強化する動きが一巡したこと、および、前連結会計年度に官公庁向けの大型案件を獲得したことによる影響を補うには至らず

**i-FILTER**  
Series

前年同期比 **80.1 %**



**m-FILTER**  
Series

前年同期比 **76.4 %**



**FINALCODE** 前年同期比 **236.0 %**



平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料

---

# 家庭向け市場

- 携帯電話事業者やMVNO事業者等と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」のモバイル端末版の拡販と協業拡大を推進
- 個人向けパソコンの国内出荷台数の減少等、引き続き厳しいビジネス環境が続く中、複数年パッケージ製品やネットカフェ向けの販売、「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が順調に推移し、売上は底堅く推移

パソコン版

前年同期比 **110.2 %**

ゲーム機/TV版

前年同期比 **79.7 %**

モバイル端末版

前年同期比 **130.7 %**

**i-フィルター**



**平成30年3月期 第3四半期決算補足説明資料**

---

**平成30年3月期 通期業績予想**

## 平成30年3月期 連結業績予想

- 国内市場においては、新市場に新製品を投入することにより、継続的・安定的な成長を見込む
- 国内外の関連子会社等については、期首予算上は保守的に見込む

項目	平成29年3月期実績	平成30年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,058 百万円	<b>5,600 百万円</b>	10.7 %
売上総利益	4,051 百万円	<b>4,450 百万円</b>	9.8 %
販売管理費	2,227 百万円	<b>2,450 百万円</b>	10.0 %
営業利益	1,824 百万円	<b>2,000 百万円</b>	9.6 %
経常利益	1,811 百万円	<b>2,000 百万円</b>	10.4 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,125 百万円	<b>1,240 百万円</b>	10.2 %
1株当たり配当金	24 円	<b>28 円</b>	—



## 平成30年3月期 個別業績予想

- 国内市場においては、新市場に新製品を投入することにより、継続的・安定的な成長を見込む

項目	平成29年3月期実績	平成30年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,104 百万円	<b>5,550 百万円</b>	8.7 %
売上総利益	4,028 百万円	<b>4,450 百万円</b>	10.5 %
販売管理費	1,960 百万円	<b>2,100 百万円</b>	7.1 %
営業利益	2,067 百万円	<b>2,350 百万円</b>	13.7 %
経常利益	2,056 百万円	<b>2,350 百万円</b>	14.3 %
当期純利益	1,339 百万円	<b>1,621 百万円</b>	21.1 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成30年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の31.2%

平成30年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり28.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成29年3月期	10.00	14.00	24.00	29.7%
平成30年3月期	14.00			
平成30年3月期（予想）		14.00	28.00	31.2%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

*DigitalArts*®

-より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく-